



レポート

ASEANにおける 高齢化社会



GLOBAL ANGLE
RESEARCH ACCESS TO ANY SPOT IN THE WORLD

目次

1. イントロダクション
2. ASEAN10における65歳以上の人口
3. 高齢化社会、高齢社会、超高齢社会の定義
4. 高齢化社会と高齢社会による需要のある業界
5. 結論



イントロダクション

約6億9千万人の人口をもつ東南アジア諸国連合(ASEAN)にはブルネイ、カンボジア、東ティモール、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの11カ国が含まれる。昨今新たに経済的に発展していると認識された国々を含み、ASEANには先進国と開発途上国が入り混じっている。インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、そしてベトナムは総合的にASEAN6と呼ばれ、東ティモールを除いた全10カ国はASEAN10に分類される。



ASEAN諸国の概要



ASEAN10における65歳以上の人口

ASEANの65歳以上の人口は今後も増え続けると予想されている。2050年までに約1億2800万人に上るとされており、2025年の倍となる見通しだ。加盟国の中でもインドネシア、ベトナム、タイ、フィリピンではとりわけ多くの高齢者が見込まれる。

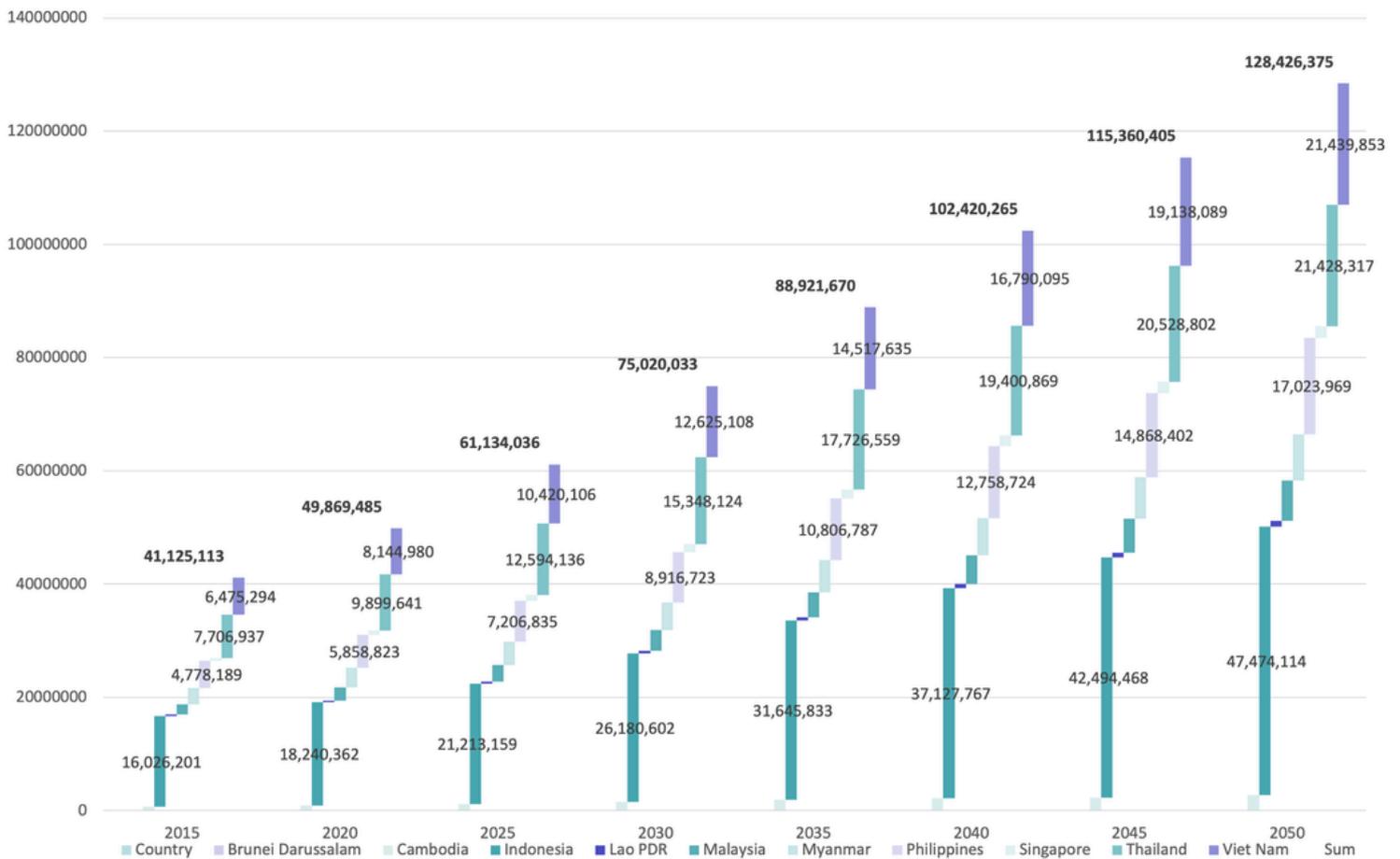


図1:ASEAN10における65歳以上の人口数（世界銀行）

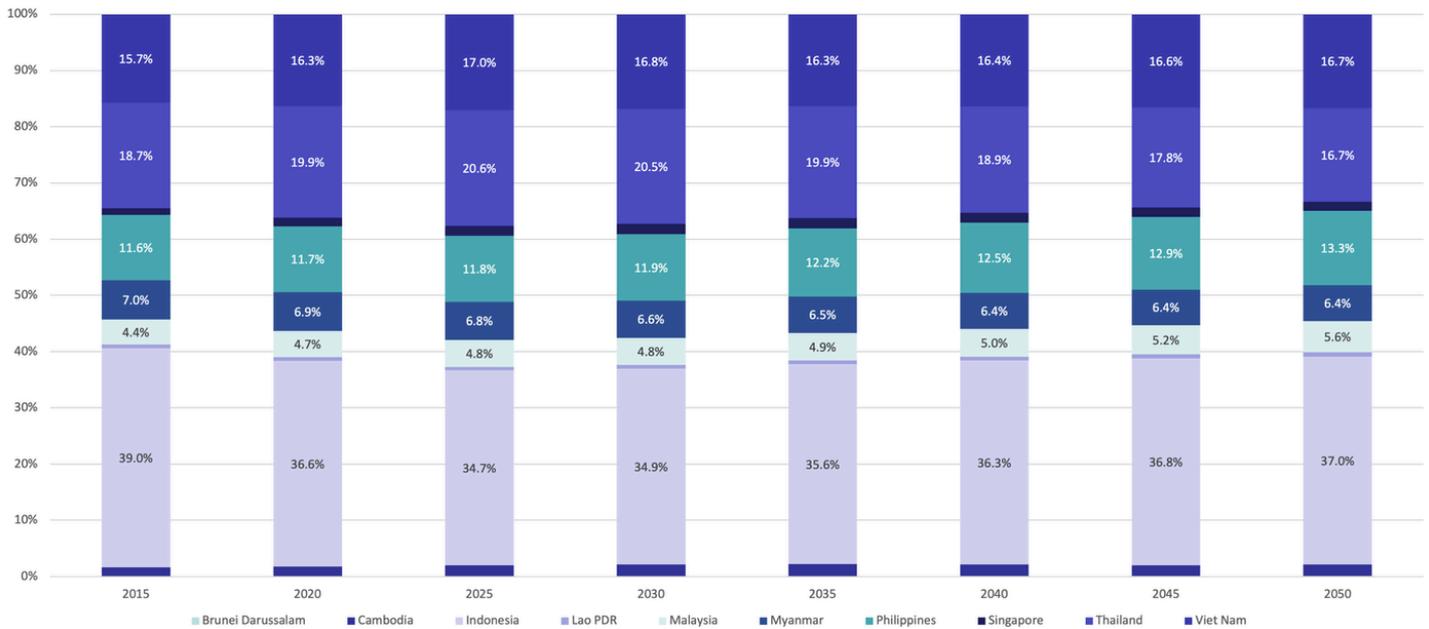


図2:ASEAN10における65歳以上の人口の国ごとの割合（世界銀行）

高齢化社会、高齢社会、超高齢社会の定義

OECDによると高齢化社会は65歳以上の人口が7%~14%を占める国を指す。この割合が15%~20%になると高齢社会と考えられる。超高齢化社会とは65歳以上が21%を超える国のことを示す。この定義に基づくと、ASEAN地域では2040年ごろまでに高齢社会となることが予想される。ASEAN6は2040年から2041年の間に高齢社会となるのに対し、ASEAN10では2042年に到達予定だ。

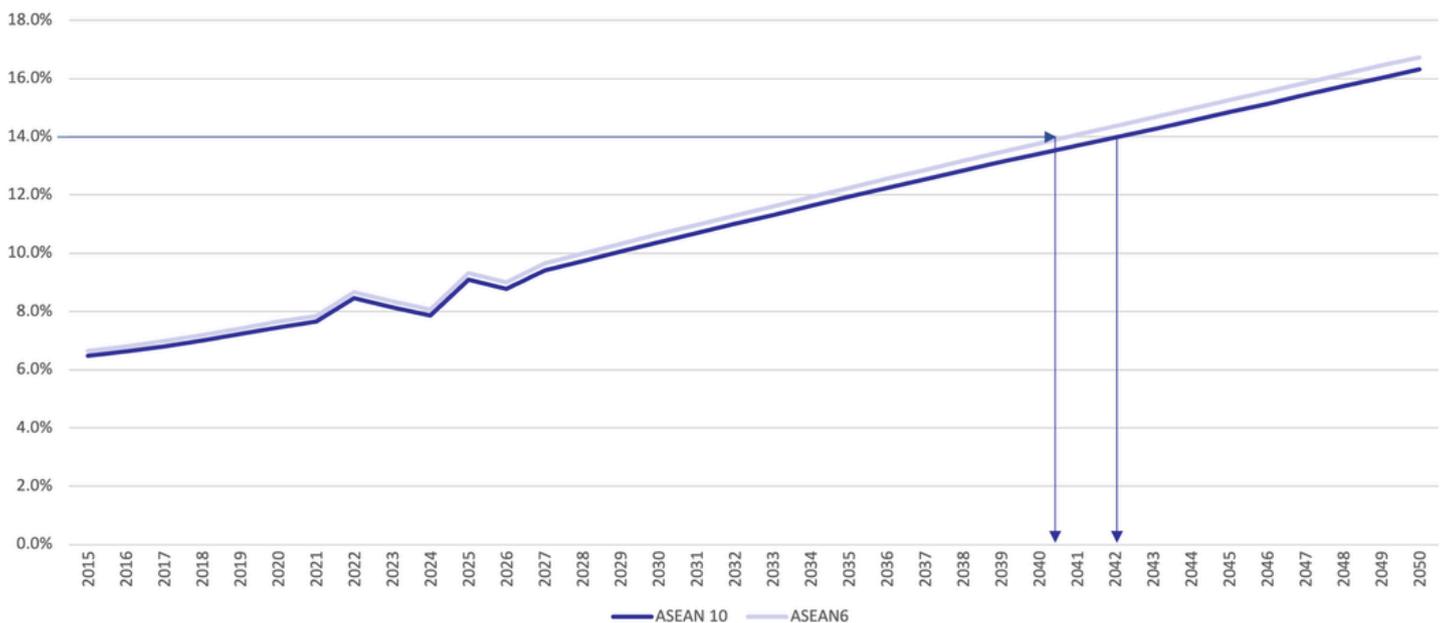


図3:ASEAN6とASEAN10における65歳以上の人口割合（世界銀行）

2050年までにブルネイ、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ、ベトナムはASEAN内において高齢社会に突入することが考えられる。2024年現在、シンガポールとタイはすでに高齢社会と考えられ、2030年までに超高齢社会になるであろうと予測される。一方ベトナムは2035年ごろに高齢社会に到達する予定だ。カンボジア、ラオス、ミャンマー、フィリピンは対照的で、徐々に高齢の人口が増えるものの2050年まで高齢社会にはならないと予測される。

Country	Brunei Darussalam	Cambodia	Indonesia	Lao PDR	Malaysia	Myanmar	Philippines	Singapore	Thailand	Viet Nam
2015	4.1	4.2	6.2	4.2	5.9	5.6	4.6	8.9	11.0	7.0
2020	5.5	5.3	6.7	4.3	7.0	6.5	5.2	13.2	13.9	8.4
2025	7.4	6.8	7.5	4.9	8.4	7.5	6.0	18.1	17.5	10.4
2030	9.7	8.5	9.0	5.7	9.9	8.7	6.9	22.8	21.3	12.3
2035	12.5	10.0	10.5	6.5	11.4	9.9	7.9	26.4	24.7	13.9
2040	15.3	11.0	12.0	7.4	13.0	11.1	8.8	29.8	27.4	15.9
2045	18.1	10.9	13.5	8.6	14.8	12.3	9.8	32.3	29.5	17.9
2050	20.8	12.9	15.0	10.1	17.4	13.6	10.8	34.2	31.6	20.0

図4:国ごとの65歳以上の人口割合（世界銀行）

ASEANにおける高齢化社会において注目すべき点は、すでに高齢化が進んだ他の国や地域より早いペースで進んでいることだ。例えば、2007年に最も早く超高齢社会に突入した国の一つである日本は1970年から1994年の24年間で高齢化社会から高齢社会に移行した。フランスとアメリカではそれぞれ115年と72年かかっている。これらと対照的に、タイは2002年から2020年のたった18年しか経っていない。平均してASEAN諸国は高齢社会に移行するのに20-26年ほどかかると予想される。西側諸国やASEAN諸国以外の先進国と比較すると実に早いペースで高齢化が進んでいる。

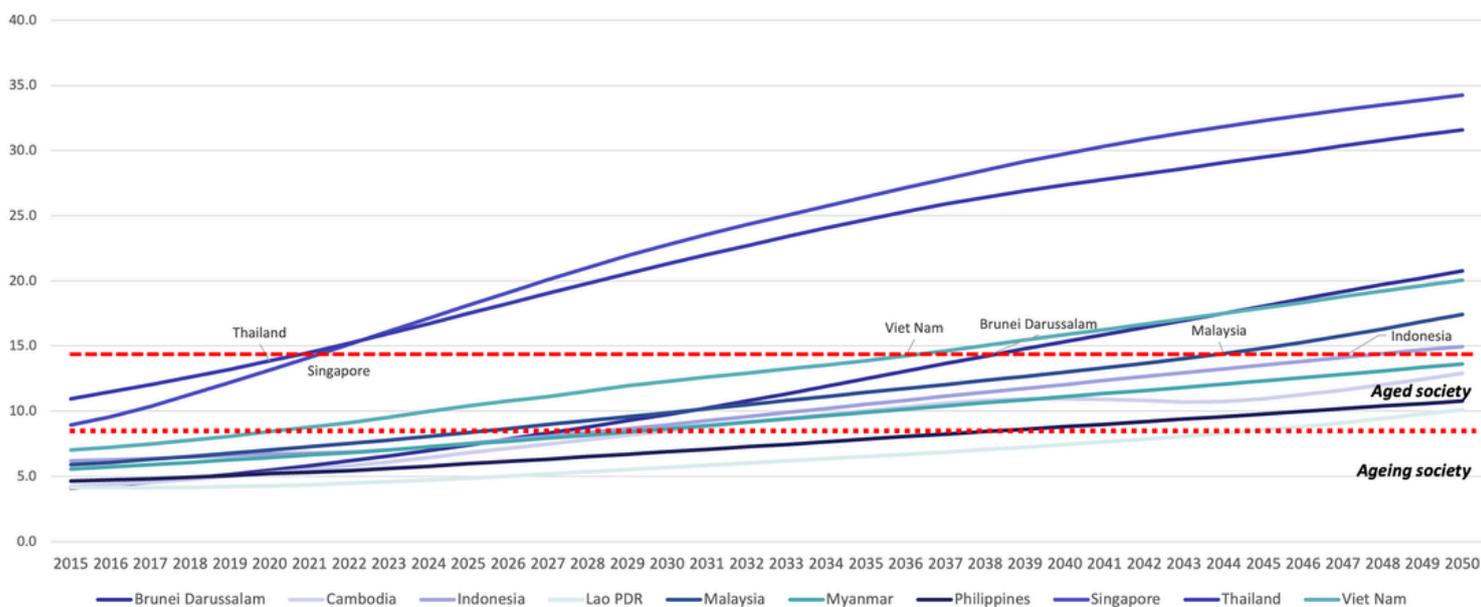


図5:国別の高齢化社会 高齢社会 超高齢社会の突入時期

高齢化社会と高齢社会における 需要のある業界

前項で挙げた経済におけるマイナス面とは対照に、高齢人口に焦点を当てた産業は高齢化/高齢社会においてよりビジネスチャンスが広がる可能性がある。

ヘルスケアイノベーションと
サービス

住宅と不動産

ロボット工学と自動化

消費材とサービス

ヘルスケアイノベーションとサービス

製薬会社やバイオテック会社は加齢に関連した不調に対処するための目的に応じた新薬や治療法を積極的に生み出している。高齢人口の増加により在宅ケアサービスや介護付き住宅、また高齢者福祉施設のニーズが高まっている。更にJaga-Me, Homage, SmartPeep, SoundEye, Tetsuyuといった企業はテクノロジー主導の高齢者向けヘルスケアソリューションやモニタリングサービスで草分け的な存在である。

住宅と不動産

高齢人口のニーズに適応するため、現在の住まいを改装したり、スマートホーム技術を搭載した住居に特化した家を建設することで不動産セクターが発展していくことも考えられる。介護付き住宅やシニア住宅の需要は高まっており、これによりシンガポールのような高齢社会では政府が民間企業との協力によるパイロット事業を支援している。

ロボット工学と自動化

高齢者の家事や医療支援をサポートすることに特化したロボットの需要によりロボット工学は成長している。更にロボット工学や自動化が労働力を補うために利用されてきており、高齢人口によってもたらされる労働力人口の低下問題に対処している。

消費材とサービス

拡大鏡やジッパーフック、使い勝手のいい用具や特化した食品やサプリメントといった高齢者に合わせた数々の製品を多くの企業が作っている。更に高齢層のために単なるサプリメントにとどまらない、健康的な加齢を促進することを目的とした栄養価の高い食事の選択肢を提供する事業に将来性があるとも考えられる。

前述の需要に限らず、高齢者のお金の使い道は彼らの資産に大きく影響を受ける。自由に使える収入が高くなると自身の裁量で決めて購入できる商品への支出が増える傾向にある。

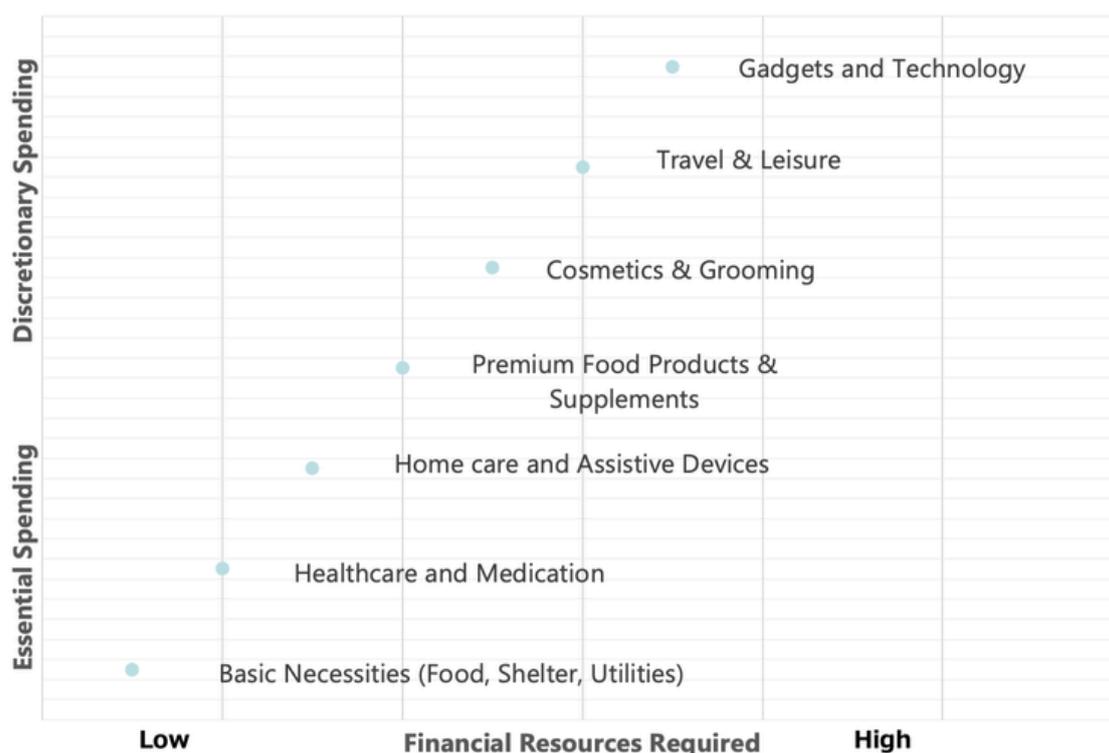


図6: 高齢者のお金の使い道(Fisher Investments)

結論

ASEAN地域は急速な高齢化の最中にありタイやシンガポールといった国々はすでに高齢社会に分類される。2050年までにASEAN10の大半の国が高齢社会になることが見通されている。この人口変動が経済に困難をきたすものの、増加する高齢層に合わせた産業が成長する可能性がある認識を同様に持つことが重要だ。

Sources

- [World Bank](#)
- [National Library of Medicine, "Older Adult Segmentation According to Residentially-Based Lifestyles and Analysis of Their Needs for Smart Home Functions", 16/11/2020](#)
- [FISHER INVESTMENTS, "Retirement Spending", Viewed on 19/06/2024](#)



レポートの免責事項:

本レポートは、GLOBAL ANGLEが実施した調査に基づいている。本レポートに記載された分析内容および結論は、GLOBAL ANGLEの独占的知的財産である。本レポートの全部または一部を、いかなる形式、いかなる手段によっても、事前の書面による許可なく複製、保存、送信、配布することを固く禁じる。

GLOBAL ANGLEは、これらの情報の正確性、完全性、適時性について、明示されている／いないにかかわらず、いかなる表明または保証を行うものではない。

本レポートは情報提供のみを目的としたものであり、いかなる証券、商品、サービスの売買を勧誘、推奨するものではない。本レポートに記載された意見は予告なく変更される場合がある。また、GLOBAL ANGLEは、本レポートで提供される情報を更新または補足する義務を負わないものとする。



GLOBAL ANGLE
RESEARCH ACCESS TO ANY SPOT IN THE WORLD

GLOBAL ANGLEは海外進出・事業推進に必要な市場・産業調査サービス、デジタルマーケティングサービスを提供しています。70か国90都市以上にローカルリサーチャーを有し、現地の言語で、現地の人により、現地市場を調べることで生きた情報を抽出することを強みとしています。自社オンラインプラットフォームで現地調査員管理・プロジェクト管理を行うことでスムーズなプロジェクト進行を実現しています。シンガポール本部プロジェクトマネジメントチームは海外事業コンサルタント/リサーチャーで形成されており、現地から取得した情報を分析・フォーマット化し、事業に活きる情報としてお届けしております。

AUTHORS



Manaka Tomoda

Market Research Executive



Dharish David

Project Manager

DETAILS

Address

GLOBAL ANGLE Pte. Ltd
7500A Beach Rd, #13-324
The Plaza, Singapore 199591

Website

www.global-angle.com

Email

info@global-angle.com

LinkedIn

<https://www.linkedin.com/company/global-angle/>